## 研究開発提案募集FAQ

## <未来社会創造事業>

質問番号	分類	質問	回答
1001		テーマ提案に応募したが、テーマ提案の 結果、不採択となったという理解で良いか。	テーマ提案には採択、不採択という概念はありません。複数の提案の共通する 内容を抽出あるいは組み合わせることで1つの重点公募テーマに作り上げていま す。また、提案されたテーマに加え、有識者へのインタビューやワークショップ等を 踏まえて、重点公募テーマを決定しています。 同時に、提案者によって公開が許諾された提案については、研究者や産業 界、社会の皆様が相互に連携を探る一助となることを期待して、ウェブ上で公 開しています。
1002	①テーマの 設定について	今回公募している重点公募テーマ・技術 テーマは今年度のみの募集か。	探索加速型の重点公募テーマについては、運営統括の総合的な判断により、翌年度も再度同じテーマで公募を行うかどうかが決定されます。本事業においては予備的な実験データの取得や体制の構築を探索研究で実施可能としていることをご理解いただき、各重点公募テーマの募集要件に合致すれば、十分な実験データや体制構築ができていない場合でも、是非、本年度の応募をご検討ください。 なお、大規模プロジェクト型の技術テーマの公募については、今年度1回限りの予定です。
2001	②提案内容について	POCのイメージはどのようなものか。探索 研究と本格研究のPOCの違いは何か。	本事業におけるPOCは、社会に研究成果が広く還元される前の段階として、社会に成果を届ける役割を担う企業等が、事業活動の一環として研究開発成果を引き取る段階をイメージしています。 POCは本格研究終了時の到達目標です。探索研究終了時の到達目標は、本格研究の実現可能性を明確にすることであり、採択後はPOCを「運営統括と共に」適切に設定・調整し、本格研究における研究計画を具体化していただきます。 上記を踏まえ、提案書においては「提案者が現時点で考える」POCを記載ください。
2002	②提案内容 について	研究開発提案書(様式)のファイル容量制限、ページ数制限について。	
2003	②提案内容 について	社会実装のためのグループとして、研究者ではなく実務家等のグループや知的財産にかかる調査をするグループ、自治体との協力等も考えられるが、そのようなチーム構成は可能か。	的・手段・期待する成果等に鑑み、個々の内容等を考慮して判断させていた
2004	②提案内容 について	研究開発代表者が行うマネジメント方針の、知財管理方法等に係わる方針について、探索研究は一つの機関で実施したい。その場合は、機関の知財ポリシーを使うということでよいか。	提案書には、一般的な知財ポリシーではなく、研究開発内容に応じた知財ポリシーを記述してください。つまり、本事業で提示する「知的財産マネジメント基本方針」を踏まえつつ、各機関のポリシーや研究開発代表者のご意志などの総合的な検討を行い、本研究開発成果の社会実装に向けて必要な知財管理の基本的な考え方を記載することが必要です。
3002	③採択後の 事務手続きや 経費の執行 について	本事業における委託研究費は、どのような使途に対し支出可能か。	未来社会創造事業ウェブ http://www.jst.go.jp/mirai/jp/ の 左列中段にある「委託研究契約関連」のリンク先で「未来社会創造事業」の 機関区分を押した先に「委託研究契約事務処理説明書 共通版」がありま す。その中の関連箇所をご覧ください。